

「本山寺山森林づくりの会」活動報告(2022.09.29)

文・写真：武田

日時：2022(令和4)年 9月 29日(木) 9:30～15:30

気象：晴

活動エリア：44林班い

活動内容：路網整備

参加者(会員)：斧田一陽、工藤貴士、倉谷邦雄、黒山泰弘、武田壽夫、寺田昭弘当山清之、中川義行、
中村賢三、中村俊夫 会員10名

<水の恵 本山寺山>

今上陛下は第4回アジア・太平洋水サミット(4月、於 熊本市)の記念講演として「人の心と水」と題するお話をされたそうで、**その中で本山寺にも祀られている人面蛇身の「宇賀神像」にも触れておられる。**

蛇の神や龍神は水への信仰の現れで、広くアジア・太平洋各地に、また、その姿は日本では土偶にも見られるとのこと。本山寺山には沢山の溪が刻まれていて、活動地には二カ所の水源が守られ将に水の山。(一つは関伽水の水源)。**写真は奈良の喜光寺の秘仏で、講演録掲載の本山寺「宇賀神像」に良く似ている。**



作業は路網整備。最上部、「44林班い」の尾根で事業計画に上げた作業道の仕上げに取り組む。

<今日の成果>

境界標#100～#102の間、約50mを拓く。ルートを遮る倒木や枯枝の除去は大作業でチェーンソー様々。帰りは以前拓いた道を降って水源①に降り、溪筋を下に見て自然歩道に向かうが、斜面の道がすっかり砂に埋まり、その上、沢山の枯れたダンドボロギクが足元を隠していて、歩き難い事この上なし。**<写真>**



<写真>

【③道を通す為、倒木の根も刈り除ける】



【④写真①の概成状態】



【⑤#101 標石を越え路を延伸する】



【⑥左写真の先、倒木を移動中】



【川久保へは道工事中：自然歩道以外立入禁止】



【今日のキノコ】

